

令和元年度

栗野南小学校だより【学力調査特集号】

TEL25-1233 FAX25-1319  
URL http://edu.ton21.ne.jp/awanominami/

# 栗生野



## 「R1 年度 全国学力・学習状況調査」特集

本年度、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、分析結果から考えられる「栗南っ子」の特徴や課題についてお知らせします。

### ◎成果が表れている力

#### 【国語】

- 情報を相手に分かりやすく伝えるために工夫する態度
- 文と文との意味の繋がりを考え、接続語を使って内容を分けて書く力
- 漢字を文中で正しく使う力

#### 【算数】

- 図形の定義や性質を理解し、考察する力
- 言葉や数を用いて、筋道を立てて説明する力
- 除法の式の意味や性質を理解し、計算しやすい式にして処理する力

### ●課題となる力と授業での支援策

	課題となる力	授業での支援策
国語	<p>課題が見られた問題</p> <p>1-(3) 公衆電話について調べたことを【報告する文章】にするために、「2 調査の内容と結果」から分かったことを、<u>示された条件に合わせて</u>書きましょう。</p> <p>○文章の内容を的確に押さえ、<u>目的に応じて(問題の条件に合わせて)自分の考えをまとめて書く力</u></p> <p>3-(3) <u>インタビューをして</u>心に残ったことを【伝える文章】にするために、<u>豊職人としての仕事への思いや考えに着目し、示された条件に合わせて</u>書きましょう。</p> <p>○<u>話し手の思いや意図を捉えながら聞き、自分の考えを条件に合わせて書く力</u></p>	<p>授業での支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から丁寧な見取りをとおして個々の読み取り状況を把握しながら授業を進めていきます。</li> <li>・提示された条件に合わせて文章を書く活動を定期的に取り入れていきます。</li> <li>・一般の方や友達にインタビューをするなどの、より実践的な活動を増やして、相手の思いや意図を捉える経験を重ねていきます。</li> </ul>
算数	<p>課題が見られた問題</p> <p>2-(2) グラフ1の、2010年の市全体の水の使用量は、1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。</p> <p>○<u>グラフを読み取り、題意に合わせて処理する力</u></p>	<p>グラフ1 市全体の水の使用量</p> <p>・「〇〇は××の* *倍」の表現について、何をもとにして、そのいくつ分にあたるのかを丁寧に指導していきます。</p> <p>・関係図に表す活動を意識して取り入れていきます。</p> <p>・算数での学習を理科や社会でのグラフの読み取りにつなぎ、読み取りのポイントをその都度確認していきます。</p>

2-(4)

【かいとさんが考えた式】の

Aに入る数を  
書きましょう。

○計算のきまりを理解し、正しく計算する力

【かいとさんが考えた式】

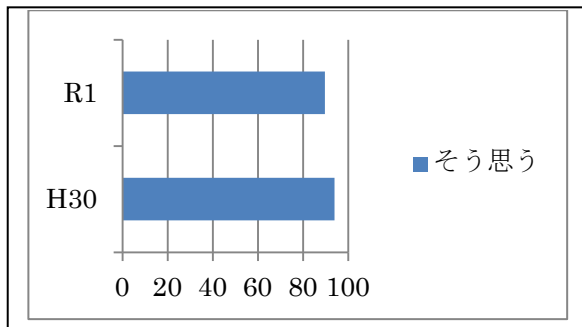
$$6 + 0.5 \times 2 = \boxed{A}$$



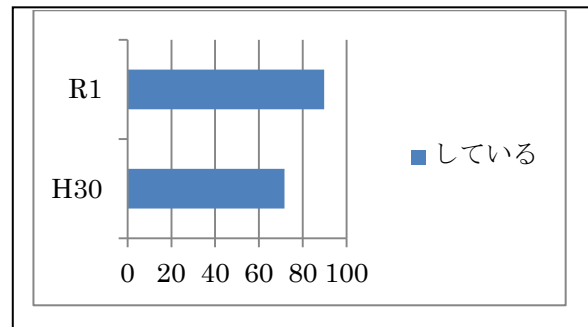
- ・式の中の数の意味を考える活動を、意識して増やしていきます。
- ・2つの式を1つの式で表す活動を取り入れ、 $+$  $-$  $\div$  $\times$  (四則)を混合して計算する機会を増やしていきます。

○質問紙の結果から

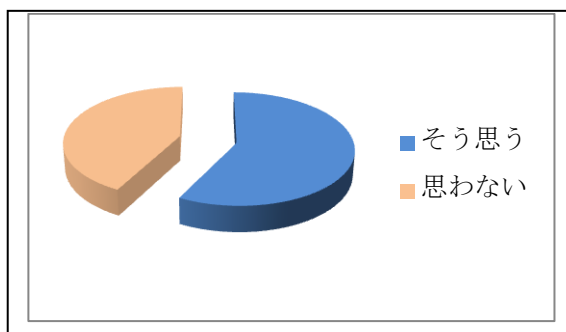
自分には良いところがあると思いますか？



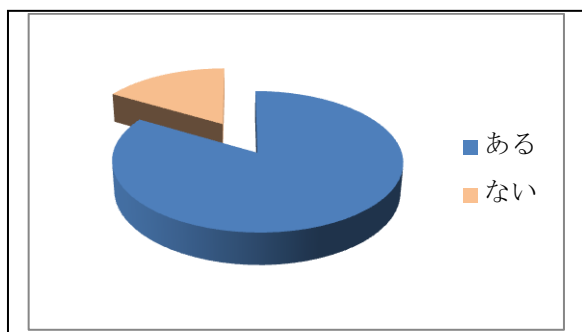
今住んでいる地域の行事に参加していますか？



学校生活をよりよくするために、みんなで話し合っ  
て解決方法を決めていますか？



みんなで協力して取り組み、嬉しかったことは  
ありますか？



◎ 本校の大きな課題であった「自己肯定感」(自分にはよいところがあるという意識)は、近年高位で安定していることが分かります。これまでの授業や集会活動での感想発表等、さまざまな活動をとおして自信をつけていることがうかがえます。また、この自信が地域行事への積極的な参加に繋がっていることも見て取れます。

● その一方で、自分の考えを发表することにやや抵抗を感じている児童も多いようです。そのため、みんなで話し合っ  
て問題解決を図ろうとする意識がやや低いようです。これは、周囲に目を向け主体的に考えたり、自分から行動したりする経験が不足していることが一因として考えられます。このため学校では、学校生活のあらゆる場面で話し合い活動を取り入れるように工夫しています。

今後も継続して、これからの社会で求められる「自分の意見を発信する力」を、社会の出来事と関連づけながら、仲間との学びあいをとおして育成していきたいと考えています。ご家庭でも是非、お子様と話す機会を設けていただき、お子さんの思いや考えに耳を傾けるなど、ご支援いただけるとありがたいです。今後ともよろしくお願いたします。

また、総合的な学習の時間を中心として取り組む「芋粥 Project」をとおして社会との繋がりを意識しながら活動を進めていく中で、自分のことだけでなく、学級、学年、学校全体に目を向け、「聞く・話す」そして「考える」活動を大切にしながら、児童自ら考え行動できる社会的実践力の育成に努めていきます。

# 粟生野

自分の所属意識、自治意識が高まり、周囲に対する気づきや働きかけが生まれてくると考える。さらには社会の問題や外国との関わりに目を向けさせたりしていくような仕掛けが必要と考えます。入り口として、今後、継続・発展的に進めていくことが必要である。

話し合い活動をとおして、自治的な活動を積み重ねていくことから、